



mina an ikor CONCEPT

北海道のルーツであるアイヌの伝統『アイヌ文様』

服飾品や生活を彩るアイヌ文様は先祖代々受け継がれるものでモレウ(渦)とアイウシ(棘)とシク(目)で構成され、夜空に輝く星のように人や動物、自然など万物を見守り、災害や不幸から護る、未来に御返しする、という想いが込められています。そんなアイヌ文化を継承したToyToy氏から生み出されるアイヌ文様は強いパワーとエネルギーに満ち溢れ、人々の心を奪い世界的にも高い評価を受けています。

そのToyToy氏を中心としたプロジェクト「mina an ikor」。

北海道オフィシャルグッズとしての展開を目指し、その第一弾として大判ストールが生まれました。

日本の伝統工芸品に使われる千代紙で切られたアイヌ文様を巧みに組み合わせ、表情豊かな使い方が楽しめます。



ToyToy × ⑥

mina an ikor (ミナ アン イコル)

アイヌの言葉でminaは笑顔、ikorは宝物という意味です。

『mina an ikor』には「笑顔は宝物である」という意味が込められています。

またロゴデザインにはアイヌ文様で歴史上初の「雪の結晶」文様を採用しました。

世界中すべての人々にとって宝物である笑顔を北海道から届けたい、という強い願いが込められています。

Ainu pattern design : ToyToy

Creative direction : Takuya Minee / cloud 9

ToyToy (小川基)

アイヌ文様切り絵作家、トンコリ奏者、アイヌ民族舞踏継承者。アイヌ文化に囲まれた環境で育ち、幼少期から切り絵を作り出す。日本の伝統文化である和紙や千代紙で和とアイヌ文化を融合させた切り絵作品を生み出し続けている。「ご先祖様からの借り物を未来に返す＝北海道の伝統として未来へ」を主軸に活動を展開。

